

第2章 嵯峨嵐山地区の概況

嵯峨嵐山地区は、JR嵯峨嵐山駅を中心とした徒歩圏内（両駅から概ね半径500m～1km圏内）の地区です。この嵯峨嵐山地区の概況として、嵯峨嵐山地区の位置及び特性、嵯峨嵐山地区のある右京区の人口、高齢化率の推移及び地区内の公共交通機関並びに施設の立地状況を示します。

1 嵯峨嵐山地区の位置及び特性

嵯峨嵐山地区は、京都市北西部に位置し、小倉山及び桂川などの景勝地に囲まれた地域であり、天龍寺や清涼寺など日本を代表する社寺が多く立地している歴史あるまちです。また、嵯峨・嵐山と呼ばれる付近一帯は、京都を代表する観光地であり、国内外から観光客が多数訪れるまちでもあります。

図 - 2 右京区の位置

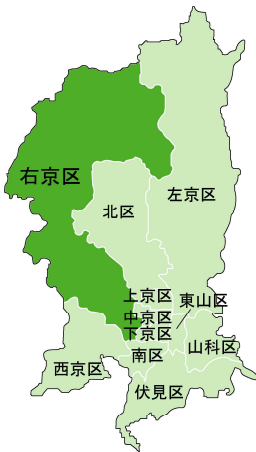


図 - 3 嵯峨嵐山地区の位置



2 右京区の人口及び高齢化率の推移

嵯峨嵐山地区のある右京区は、平成7年頃まで人口が増加していましたが、近年は微減となっています。しかし、高齢者人口は、年々増加しています。

高齢化率については、京都市全体の平均よりも低くなっていますが、高齢化が京都市全体と同程度で進んでいます。

表 - 2 総人口、高齢者（65歳以上）人口及び高齢化率の推移
（国勢調査，平成16年のみ推計）

	右京区			京都市	全国平均
	総人口	高齢者人口	高齢化率 (%)	高齢化率 (%)	高齢化率 (%)
昭和55年	192,646	17,515	9.2	10.4	9.1
昭和60年	194,175	19,612	11.1	11.4	10.3
平成2年	195,323	21,719	11.1	12.7	12.0
平成7年	197,600	25,948	13.1	14.6	14.5
平成12年	195,573	31,663	16.2	17.2	17.3
平成16年推計	195,417	37,602	19.2	19.6	-

3 嵯峨嵐山地区内の公共交通機関

(1) 鉄道

嵯峨嵐山地区内には、ＪＲ嵯峨野線、嵯峨野観光鉄道（トロッコ列車）及び京福嵐山線の３つの鉄道が走っています。地区の中心には、それらの鉄道のＪＲ嵯峨嵐山駅、トロッコ嵯峨駅及び京福嵯峨駅前駅があり、この中でＪＲ嵯峨嵐山駅が１日平均利用者数が５,０００人以上の特定旅客施設です。

表 - 3 嵯峨嵐山地区内の鉄道及び駅（平成 16 年 3 月時点）

鉄 道	駅 名	1 日平均乗降客数 (人)	1 日平均利用者数 (人) 注)
ＪＲ嵯峨野線	嵯峨嵐山駅	9,796	9,796
嵯峨野観光鉄道 (トロッコ列車)	トロッコ嵯峨駅	1,800	1,800
京福嵐山線	嵯峨駅前駅	1,391	1,391

注) 改札内での乗換客数を加算した人数（実数不明のため 3 駅共、乗降客数に同じ。）

(2) バス

嵯峨嵐山地区内では、京都市営バスが 4 系統で計 3 7 1 本、京都バスが 8 系統で計 3 1 5 本、市内の各方面に向けて運行されています。

4 嵯峨嵐山地区内の施設の立地状況

嵯峨嵐山地区内には、コミュニティ嵯峨野（全国手話研修センター）、京都栄養医療専門学校などが立地するほか、周辺に天龍寺、清涼寺、車折神社などの多くの歴史、文化施設が立地しているのが特徴です。

嵯峨嵐山地区内の施設の立地状況を図 - 4 に示します。

